

簡易型感震ブレーカー設置可否判断チェックシート

簡易型感震ブレーカーの配付を希望される方は、ご自宅の分電盤の種類等をご確認のうえ、以下の質問をご確認ください。

- 1 自宅で家庭用電源を用いて動作する生命維持に係る医療機器を使用している。
☐ はい（確実に動作する補助電源がある）
☐ はい（補助電源を用意できない） →設置できません。
☐ いいえ
- 2 太陽光発電設備・エネファーム設備・プラグインハイブリットカー接続電源がある。
☐ はい →該当する設備の設置業者へ設置の可否についてご相談ください。
☐ いいえ
- 3 ホームセキュリティに加入している。
☐ はい →設置作業を行う前に、警備会社への連絡が必要です。
☐ いいえ
- 4 既に感震センサー内臓タイプの分電盤を持っている。
☐ はい →設置できません。
☐ いいえ
- 5 設置されているブレーカー容量が 60A 以上または分電盤が特殊形状型（ロングストローク／工場型等）である。
☐ はい →質問 8 へ
☐ いいえ →質問 6 へ
- 6 蓋つきの分電盤である。
☐ はい →質問 8 へ
☐ いいえ →質問 7 へ
- 7 分電盤のスイッチの上部または下部に、器具を設置するスペース（縦 7 cm×横 4 cm）があり、両面テープで接着が可能である。
☐ はい →アダプターヤモリ
☐ いいえ →質問 8 へ

（裏面へ）

8 分電盤のブレーカースイッチから左側の壁面までの間隔を 10 cm開けたときに器具を設置するスペース（縦 18 cm×横 18 cm）があり、壁の凹凸が 0.5 mm程度であり両面テープで接着が可能である。（左側にスペースがなく壁がある場合はその壁の壁面に設置可能。）

- ☐ はい → ☐ ヤモリ・デ・セット
→ ☐ 容量が 60A 以上または分電盤が特殊形状型（ロングストローク／工場型等）であれば パワーヤモリセット
- ☐ いいえ → 設置できない場合がございます。